2. 治療法を選び、納得して治療を受けたいとき

(1) セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第２の意見」を求めることです。病院を替えることではありません。

担当医から自分の病状、進行度、なぜその治療法をすすめるのかなどを十分に聞いた（ファーストオピニオン）うえで、セカンドオピニオンを取ることをおすすめします。

①セカンドオピニオンの受診方法

まず初めに、担当医にセカンドオピニオンを取りたいことを相談します。次に、セカンドオピニオンを取りたい希望先の外来に申し込み（予約）をしましょう。それから、紹介状や画像など担当医から受け取り、希望先の医療機関でセカンドオピニオンを取りましょう。

最後に、セカンドオピニオンを取りましたら、担当医に必ず報告し、今後のことを相談しましょう。

②セカンドオピニオンの費用

セカンドオピニオンは医療保険が適用されない自費診療で、病院によって費用が異なります。目安としては、30 分～１時間程度の相談で１万円～１万５千円程度となっています。（費用の詳細については、各医療機関ホームページをご参照ください）

沖縄県でも「セカンドオピニオン外来」を設置している病院が増えています。遠慮をせず、担当医に相談して、ぜひこの制度を活用しましょう。

詳しい情報は、沖縄県がん診療連携協議会ホームページをご参照ください。

(2) セカンドオピニオン実施施設

（2011 年　12 月現在）

施設名	住所	電話番号
宮古島徳洲会病院	〒 906-0014 宮古島市平良字松原 552-1	0980-73-1100（代）
北部地区医師会病院	〒 905-8611 名護市字宇茂佐 1712-3	098-054-1111（代） （内線 2136）
県立中部病院	〒 904-2293 うるま市宮里 281	098-973-4111（代） （内線 3232）
中頭病院	〒 904-2195 沖縄市知花 6-25-5	098-939-1300（代）
中部徳洲会病院	〒 904-8585 沖縄市照屋 3-20-1	098-937-1070
ハートライフ病院	〒 901-2492 中城村字伊集 208	098-895-3255（代）
国立病院機構 沖縄病院	〒 901-2214 宜野湾市我如古 3-20-14	098-898-2121（代） （内線 235）
浦添総合病院	〒 901-2132 浦添市伊祖 4-16-1	098-878-0231（代）
那覇市立病院	〒 902-8511 那覇市古島 2-31-1	098-884-5134
沖縄赤十字病院	〒 902-8588 那覇市与儀 1-3-1	098-853-3131（代） （内線 130、157）
沖縄セントラル病院	〒 902-0076 那覇市与儀 1-26-6	098-854-5511（代）
県立 南部医療センター・ こども医療センター	〒 901-1193 南風原町字新川 118-1	098-888-0123（代） （内線 1107、1106）
与那原中央病院	〒 901-1303 与那原町字与那原 2905	098-882-8116
豊見城中央病院	〒 901-0243 豊見城市字上田 25 番地	098-850-3811（代）
琉球大学医学部 附属病院	〒 903-0215 西原町字上原 207	098-895-1371

こちらもチェック！ P61「セカンドオピニオンを活用する」

知って得する基礎知識
○ セカンドオピニオンについて

今の主治医とは別の医師の意見を聞くことを、セカンドオピニオンといいます。がんの治療は日進月歩で進んでおり、医師によってすすめる治療が違う場合もあり、ときには別の医師に聞くことでよりよい治療法が見つかる場合もあります。多くの場合は、主治医と同じ判断となりますが、それでも今の選択が正しいことが分かります。こうした意味でセカンドオピニオンを取ることが患者さんの利益となります。

多くの主治医は、がんの診断(病名や病気の拡がりなど)がついた段階で、患者さんに診断名・病期・今後の治療方針の説明を行います。その時にセカンドオピニオンについての簡単な説明とともに、是非セカンドオピニオンを取るように患者さんにすすめることが一般的となっています。

しかし、がんの専門医の外来はとても忙しいので、つい忘れることもあります。ですから、患者さんから、主治医に対して、「セカンドオピニオンはどうしましょうか？」と質問をしてください。その際に、主治医の先生から、セカンドオピニオンにおすすめの病院と専門医を複数紹介してもらいましょう。主治医は自分自身とは立場の違う医師を推薦することによって、より患者さんに客観的な情報を取って頂けるように配慮をするものです。ですから、皆さん、安心して主治医にいろいろと相談してください。そして、最初の治療を受ける前に、是非セカンドオピニオンを取りましょう。